

そんなに

AIで分かった！ スタ展は本番のスタートに影響しない!?

2024/07/30 下関 3R

	VERY SLOW	SLOW	FAST	EXTRIME	マクールAI予想
西川 拓利	21%	23%	32%	23%	
広瀬 聖仁	19%	34%	30%	15%	
武富 智亮	9%	22%	12%	35%	
西丸 敦基	35%	22%	22%	12%	
大塚 豊	12%	24%	36%	12%	
米田 隆弘	24%	37%	24%	12%	

AIスリットは全艇Fの夢を見るか？

『2001年宇宙の旅』では木星探索のために搭載された人工知能の暴走が描かれた。当時その言葉さえ知らない人も多い中、高度に訓練されたAIが自我を持ち人間を攻撃する姿は多くの人に衝撃を与えたい。その後も(それ以前も)AIは様々なSF作品に登場した。母親への愛を求める感動ストーリーや(A・I・/2001年)人間との恋に発展する(her/2013年)等、多様な描かれ方をし、僕はAIと共生する未来を想像してきた。まさか、『2001年宇宙の旅』の公開から半世紀、ボートレースのスタート隊形を予想するAIが出てくるなんて誰も想像しなかっただろう。

前置きが長くなったが、今回開発したのは、名付けて「マクールAIスリット」。機械学習の手法で訓練したAIがスタート隊形を4段階で予想するものだ。100種類以上のデータから、AIが自動で「スタートの早さがどのデータに大きく関係しているのか？」を学習。必要がないと判断したものは切り捨て、厳選した61種類のデータで構築した予想モデルだ。開発したのは明大の大学院を卒業したばかりのNくん。3週間ぐらいでひよいひよい完成させてしまった秀才だ。

AIスリットで見えたスタ展

上表の見方だが、スタートの早さを4段階で区分し、そこに当てはまる確率をAIが予想している。1区画あたり0・0375秒、4分の1艇身差となっている。例えば上表では西丸敦基選手がVERY SLOW(とても遅い)スタートを切る確率が35%と予想しているが、逆にEXTRIME(とても早い)スタートを切る可能性も12%ほどあるということだ。

この確率差を読み解くことがAIスリットの活用にはかなり重要になるものの、表の右にはAIが実際に予想したスリット隊形が表示されている。表を読み解くのが面倒くさいときはこちらを参考にしてみてください。

このAIスリットを作成するにあたって我々が一番衝撃を受けたことが、スタート展示と本番のスタートの関係性をAIは薄いと判断していること。かつてスタート展示がなかった時代はスタートがバラバラで予想が今より大変だった。という話を聞いたことがあったので、それよりも風向きや、展示タイムなどのほうが重要度が高いというのは編集部にとっては衝撃も衝撃。自分の舟券が当たらないのはココに原因があったのか…。

詳しい記事はマクールnoteで公開中!

